

国語

課題チャレンジ

漢字の覚え方を工夫しよう②

対象学年

5・6年生

たしかめよう

組名前

4年生のみなさんへ

委員会活動の体験のお知らせ

放送委員会

- 1 日時 2月19日(月)～2月22日(木)
10時25分から10時45分まで
- 2 集合場所
多目的ルーム
- 3 参加⁽¹⁾たいしょう
4年生の⁽²⁾きぼう者
- 4 申し込み⁽³⁾期限と申し込み方法
・2月14日(水)までに申しこんでおいてください。
・⁽⁴⁾事務室前に申し込み用紙と箱が⁽⁵⁾おいてあります。
用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れてください。
- 5 お願い
・当日は、全員が体験できるように、放送委員の⁽⁶⁾指示にしがってください。

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)

〈ヒント〉「たいしょう」は、対象・対照・対称と様々な漢字が使われます。この文章では、「誰に対して」などの意味として使われています。応募用紙、おもちゃの箱や説明書などによく使われます。このワークシートにも、誰に対して使うプリントなのかをどこかに示しています。探してみましょう。

次の文章の 部の漢字の読みをひらがなで、漢字で、それぞれでいいいに書きましよう。

部を

ポイント

漢字は、ふだんの文や文章の中で使えることが大切です。「同じ読み方をする漢字」「形がよく似た漢字」「送り仮名が必要な漢字」は、まちがえやすい漢字です。正しく覚えらるるよう、問題で確認ましよう。

三

次の 部の漢字の表し方として適切なものを、アからウの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を、書きましよう。

- ① 考えをあらためる。
ア 改らため・イ 改ため・ウ 改め
- ② 答えをたしかめる。
ア 確しかめ・イ 確かめ・ウ 確め
- ③ えん筆がみじかい。
ア 短じかい・イ 短かい・ウ 短い
- ④ 技をきわめる。
ア 極わめる・イ 極める・ウ 極る

〈ヒント〉「みじか・い」「みじか・くない」と言葉を変化させて考えてましよう。「みじか」までは、変化していないことに気付きます。言いかえても変化がない部分は、漢字で書く場合が多いです。「この考え方に当てはまる漢字」と、「そうではない例外になる漢字」と分けて覚えることもよいかもしれません。



○自信がない漢字や、調べてみたい言葉や漢字は、国語の教科書や国語辞典、漢字辞典などで積極的に調べながら取り組みましょう。漢字や、言葉の意味を調べてみましょう。

一

①から⑤の 部には、下の□のどの漢字が当てはまるでしょう。当てはまるものを線で結びましょう。
(同じ漢字を何度選んでもかまいません。)

- ① ア 豊とよ富とみな知ちしきがある。
- ② ア 危あやけんな道みちをさける。
イ 通と学がく路ろを点てんけんする。
- ③ ア 勉めん強きやうの成なりかがでる。
イ 結むすかがが発表はつぷつされる。
エ ウ 校がうの放はなかが後ごに遊あそぶ。
- ④ ア 人にん物ぶつぞうをを考かんえる。
イ 示しょうじやう徴てい的てきな出しゅつ来らい事じ。
エ ウ 印いんしょうにに残のこる。
エ 明めい日にちを想さうぞうする。
- ⑤ ア 漢かん字じのふく習しゆをすする。
イ 一いつ度ど休きんで回わいふくすする。
エ ウ 数すうの考こうえがあある。

- 復ふく 複ふく
- 象しやう 像ざう
- 果くわ 課か
- 険けん 検けん
- 職しやく 識し

<ヒント>
「復」は、「往復」でも使われる漢字です。「複」は、行ったり来たりすることによく使われます。数が多いときによく使われるのが「複」です。その漢字が使われている他の言葉から、漢字の意味を考えてみましょう。

二

次の①から④の 部の漢字として適切なものを、アからウの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

- ① 何なん度どもこころみみる。 ア 試しろみる ・ イ 試しみる ・ ウ 試しる
- ② かかなかししい出しゅつ来らい事じ。 ア 悲かなししい ・ イ 悲かなししい ・ ウ 悲かない
- ③ 各かく自じでもちちいいる。 ア 用もちちいる ・ イ 用もちちいる ・ ウ 用もちちいる
- ④ たただたちちに出しゅつ発ぱつすする。 ア 直ただちちに ・ イ 直ただちちに ・ ウ 直ただちちに

①

②

③

④

三

①から④の 部は、どのような漢字を使って書きますか。部と同じ漢字を 部に使って書く文として最も適切なものを、次の1から3の中からそれぞれ一つ選んで、□にその番号を書きましよう。

- ① 磁じ石せきを使つかって、実じつけんする。

- 1 魚いさなのけんけん究きゆうをすする。

- 2 すすばらししい経けいけんけんをすすた。

- ② 文ぶん章しやうをいいんん用ようすする。

- 1 問もん題だいにししるししを付つける。

- 2 ロろーうプぷをひひく。

- ③ ゴごミみの収しゆしゆう場じやう所じよを確かく認にんすする。

- 1 参さん加か費ひ用ようをししゆうゆう金きんすする。

- 2 読よみ書しよししゆうゆう間かんの取と組ぐみ。

- ④ 栄えいようのバばラらンんスすを考かんええる。

- 1 学がく級きゆう遊ゆうびびの内うちようを話わし合あう。

- 2 太たいようの様よう子しを観くわん察さつすする。

- 3 子こどもどもたちたちをややしななう。

④

③

②

①

四

次の□の中に示された漢字を使った熟語（二字以上の漢字を組み合わせた言葉）を、二つ以上書きましょう。

例

会議・司会・運動会・一期一会

①

任

Blank box for writing words using '任'.

②

連

Blank box for writing words using '連'.

③

対

Blank box for writing words using '対'.

④

録

Blank box for writing words using '録'.

⑤

望

Blank box for writing words using '望'.

【まとめ】

ふだんの文や文章の中で、正しく漢字を使うことができるようにしましょう。

そのため、特にまちがえやすい「同じ読み方をする漢字」「形がよく似た漢字」「送り仮名が必要な漢字」については、それぞれの漢字の意味や使い方を確認しましょう。

また、漢字は、熟語（二つ以上の漢字を組み合わせ）で使用されることが多くあります。国語辞典や漢字辞典で調べて、様々な言葉を使えるようにしましょう。

【解答】

たしかめよう

① 対象 ② 希望 ③ きげん ④ じむしつ ⑤ 置 ⑥ しじ

① ウ（改め） ② イ（確かめ） ③ ウ（短い） ④ イ（極める）

チャレンジ

一

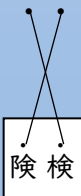
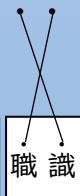
① ア しょく員室に行く。豊富な知しきがある。

② ア 危けんな道をさける。通学路を点けんする。

③ ア 勉強の成かがてる。結かが発表される。

④ ア 人物ぞうを考える。しょう徹的な出来事。印しように残る。

⑤ ア 漢字のふく習をする。ふく合型の施設に行く。一度休んで回ふくする。ふく数の考えがある。



二

① イ（試みる） ② イ（悲しい） ③ イ（用いる） ④ イ（直ちに）

三

① ② ③ ④

① ② ③ ④

① ② ③ ④

① ② ③ ④

四

① 責任 担任 任命 任用 委任 一任 など

② 連絡 連携 連続 連結 一連 連絡帳 国際連合 など

③ 対決 反対 絶対 対談 対人 対応 対策 正反对 対応策 など

④ 記録 録音 録画 登録 実録 議事録 録音機 新記録 など

⑤ 希望 願望 展望 望月 人望 望遠鏡 など